



さいたま市

【概要版】

第2期さいたま市教育振興基本計画

～人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進～

【計画期間： 2019年度～2028年度】

本市の教育が目指す人間像

世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人

- グローバル化、情報化など予測が困難な未来に対応し、多くの情報の中から何が必要かを主体的に判断し、自ら立てた問いの解決を目指し他者と協働しながら最適な解を見付け、新たな価値を創造することができる人
- 多様な人々との関わりの中で共感し、人間ならではの感性、創造性を発揮しつつ、自らの可能性を高めながら、よきよき人生、よきよき社会を創り出していくことができる人
- 生涯にわたって質の高い学びを重ね、夢と志を持ち、生きがいを見付け、健康で幸せに暮らすことができる人

平成31年（2019年）3月策定

さいたま市教育委員会

さいたま市教育振興基本計画の策定について

● 計画策定の背景・趣旨

国は、平成30年3月の中央教育審議会からの答申を受け、「夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」、「社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する」、「生涯学び、活躍できる環境を整える」、「誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する」、「教育政策推進のための基盤を整備する」の5つを基本的な方針とした「第3期教育振興基本計画」を同年6月に閣議決定しました。

本市では、総合振興計画「2020さいたま希望（ゆめ）のまちプラン」のもと、平成21年3月に策定した「さいたま市教育総合ビジョン」に基づき教育施策を展開してきました。この度、同ビジョンが最終年度となる平成30年度を迎えたことから、国の最新の動きや方向性等を参酌するとともに、これまでの本市の教育施策の成果と課題、さらに、平成29年度に児童生徒、保護者、校長、教職員を対象として実施した「教育についてのアンケート調査」の結果等を踏まえ、平成31年度（2019年度）からの10年間の本市教育における基本理念や目指すべき教育の方向性を示し、教育に関する施策を総合的・体系的に進めていくことを目的として、新たに「第2期さいたま市教育振興基本計画」を策定しました。

● 計画の位置付け

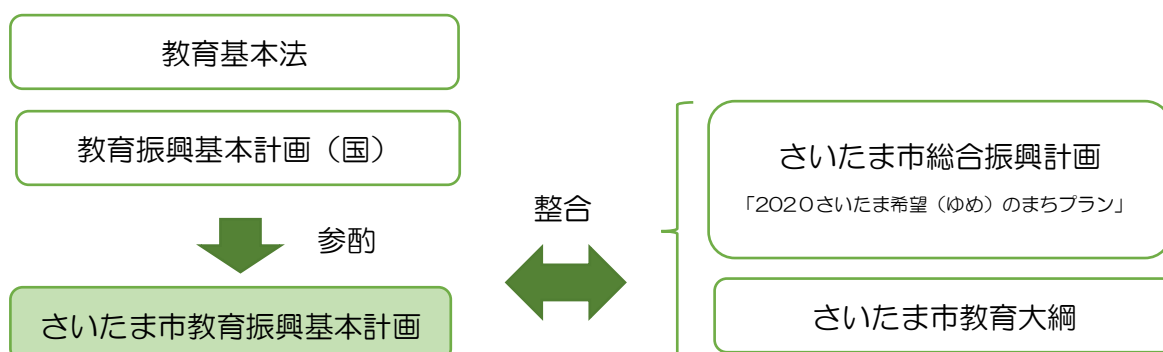
（1）法的な位置付け

本計画は、教育基本法第17条第2項に規定される、地方公共団体が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画である教育振興基本計画として位置付け、この計画に沿って本市の教育行政を総合的・計画的に推進していきます。

（2）さいたま市の他計画との関係性

本計画は、市政運営の最も基本的な計画「2020さいたま希望（ゆめ）のまちプラン」や、平成27年9月に策定された「さいたま市教育大綱」とも整合が図られた計画となっています。

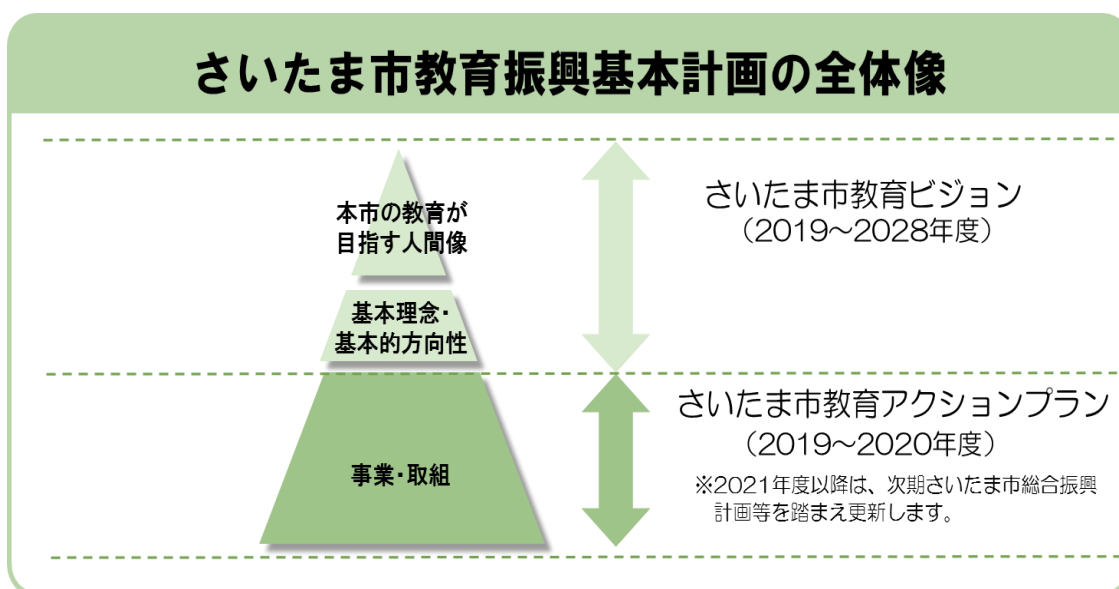
■ 計画の位置付け



● 計画の対象範囲

本計画は、本市の教育行政に係る基本的な計画であり、さいたま市教育委員会の所管する小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の学校教育及び生涯学習を計画の対象範囲とします。

● 計画の構成と計画期間



本計画は、本市の教育の今後 10 年間を見据えた基本理念等を示す「第2期さいたま市教育振興基本計画（さいたま市教育ビジョン）」【計画期間：2019 年度～2028 年度】と、計画開始後 2 年間での事業・取組を示した「第2期さいたま市教育振興基本計画（さいたま市教育アクションプラン）」【計画期間：2019 年度～2020 年度】で構成しています。



2021 年度以降については、施策の成果や課題を検証するとともに、社会経済情勢や国における教育政策の動向等を踏まえて、さいたま市総合振興計画の次期計画と整合を図りつつ、新たに推進すべき施策について検討を行います。また、本計画の計画期間中においても、新たに対応すべき教育課題等が生じた場合には、計画の見直しを行っていくものとします。

さいたま市教育ビジョン

● 教育を取り巻く社会経済情勢

人口減少と少子高齢化の進行

本市の総人口に占める 65 歳以上の人口割合は、2015 年の 22.8%から 2030 年には 27.3% になる一方、15 歳未満の人口割合は 13.1%から 11.6%まで減少すると見込まれています。こうした人口構成の変化を踏まえ、人々がそれぞれの能力を生かし、力を合わせて、豊かで安心して暮らせる地域や社会を次代に引き継げるよう環境の整備に努めることが重要となります。

家族形態と地域社会の変化

家庭教育は、子どもが基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナー等を身に付ける上で重要な役割を果たすものですが、現在、家庭を取り巻く社会状況の変化や家庭環境の多様化など、家庭教育を行う上での課題が指摘されています。このため、家庭の教育力の低下を防ぐとともに、地域や社会全体で親子の学びや育ちを支える環境を整えていくことが重要です。

技術革新

第 4 次産業革命の時代と呼ばれ、人工知能 (AI) が急速に進化を遂げつつある現代においては、複雑で予測が困難な未知の場面においても発揮できる、人間ならではの感性に基づいた思考力や判断力、表現力を身に付けること、そうした場面で生きて働く知識や技能を習得すること、さらにその前提として、自身の学びを人生や社会に生かそうとする意欲や力、人間性をはぐくむことが重要です。

グローバル化

経済活動が地球規模に広がり、インターネットを通じたコミュニケーションが広く普及した現在、外国語、とりわけ英語教育の充実とともに、異なる文化を理解し尊重する態度を身に付けること、さらにメディアリテラシー教育が重要なテーマとなっています。

● 国における教育目標・教育政策の動向

教育基本法の改正及び学習指導要領等の改訂

「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行う」ことを教育の目的とした改正教育基本法が、平成 18 年 12 月に公布・施行されました。

また、この改正を踏まえ、幼稚園教育要領から高等学校、特別支援学校高等部の学習指導要領まで改訂が行われました。

第3期教育振興基本計画の策定

平成30年6月に、平成30年度からの5か年を計画期間とし、第2期計画での「自立」「協働」「創造」の方向性を継承し、個人は「自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成」、社会は「一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現、社会（地域・国・世界）の持続的な成長・発展」をそれぞれ目指すべき姿として掲げた「第3期教育振興基本計画」が閣議決定されました。

● 本市の教育が目指す人間像

これまでの本市の教育

本市では、平成21年3月策定の「さいたま市教育総合ビジョン」のもとで推進した様々な教育施策の成果として、学校教育では、全国学力・学習状況調査において、小・中学校ともに全ての実施教科で全国や大都市、埼玉県の平均正答率を上回る良好な結果を得ることができました。また、生涯学習では、「第2次さいたま市生涯学習推進計画」の基本方針である、「だれもが『学べる・活かせる・つながる』新たな生涯学習環境の構築」の具現化を図ることができました。

教育についてのアンケート調査（平成29年10月実施）

本市の教育について、市内の児童生徒、保護者、校長、教職員に対し行ったアンケート調査では、これまでの学校教育への評価や、学校・家庭・地域が連携した教育への期待とともに、これからの社会を生き抜くために、主体的な学びや多様な人々との協働を通じ、様々な課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出す力、困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力の育成や、それを支える質の高い教育環境の整備が求められていることが明らかとなりました。

2030年以降の社会を展望した教育の役割

技術革新やグローバル化の急速な進展、社会の持続的な成長・発展を目標とする国際的な政策の動向等を踏まえつつ、少子高齢化が進展する我が国においては、社会の活力を維持・向上させていく視点とともに、「人生100年時代」や、「超スマート社会（Society5.0）」への対応を重要なテーマとして、教育の役割を考えることが必要です。そのため、本市においては、2030年はもとより、その先の22世紀までを見据え、先進的で質の高い教育を戦略的に展開し、子どもたちが夢と自信を持ち、可能性に挑戦する力を育成していきます。



2019年度から2028年度までの10年計画です。
「日本一の教育都市」の実現を目指し、22世紀を見据えた教育施策を展開していきます。

本市の教育が目指す人間像

以上のことから、本市の未来や 2030 年の社会を見通して、本市の教育が目指す人間像を、「**世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人**」と設定しました。

世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人

- グローバル化、情報化など予測が困難な未来に対応し、多くの情報の中から何が必要かを主体的に判断し、自ら立てた問いの解決を目指し他者と協働しながら最適な解を見付け、新たな価値を創造することができる人
- 多様な人々との関わりの中で共感し、人間ならではの感性、創造性を発揮しつつ、自らの可能性を高めながら、よりよい人生、よりよい社会を創り出していくことができる人
- 生涯にわたって質の高い学びを重ね、夢と志を持ち、生きがいを見付け、健康で幸せに暮らすことができる人

● さいたま市教育ビジョンの基本理念と基本的方向性

2030年を見据え、本市の教育が目指す人間像の実現に向け、本計画では、基本理念として「**人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進**」(※)を掲げ、以下の5つの基本的方向性を柱に教育施策を推進していきます。

※「未来を拓くさいたま教育」とは、全国や政令指定都市に先駆けた教育施策や本市独自の教育施策を展開し、我が国においてトップクラスの教育を確立してきた本市ならではの特色を活かした魅力ある教育のことです。

【さいたま市の教育が目指す人間像】

世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人

【基本理念】

人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進

【基本的方向性】

- ① 12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成
- ② グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成
- ③ 人生100年時代を輝き続ける力の育成
- ④ スクール・コミュニティによる連携・協働の充実
- ⑤ 「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備

さいたま市教育アクションプラン

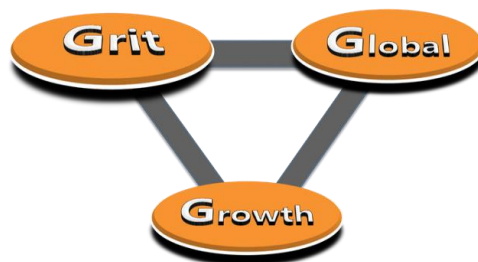
● アクションプランにおける重点事項

さいたま市教育アクションプランでは、本市の教育が目指す人間像の実現に向け、これまで本市が取り組んできた様々な教育施策をさらに磨き、市民一人ひとりが、自己実現を図っていくうえで推進力となる、「PLAN THE NEXT 3つのGで 日本一の教育都市へ」という考えを掲げ、22世紀を見据えた教育施策を展開することとしました。

「未来を拓くさいたま教育」を推進する「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」

第一のG：Grit(グリット)「やり抜く力で『真の学力』を育成すること」

やり抜く力とは、目的を達成するために継続的に粘り強く努力し、ものごとを最後までやり遂げる思考態度のことです。「真の学力」とは、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の「認知能力」と、学びに向かう力やものごとをやり抜く力、自制心等の学びの下支えとなる「非認知能力」を合わせた学力のことです。



第二のG：Global(グローバル)「『国際社会で活躍できる力』を育成すること」

「国際社会で活躍できる力」とは、多様性を理解し、世界を舞台に挑戦する主体性と創造性、豊かな人間性を持ち、言語や文化で異なる人と外国語で意見を述べたり、交流したりするのに必要な思考態度のことです。

第三のG：Growth(グロウス)「一人ひとりの成長を支え、『生涯学び続ける力』を育成すること」

「生涯学び続ける力」とは、生涯にわたって、計画し、探求し、行動し、そして、振り返るといった連続性のある主体的・創造的な学びを通して、自己の能力を高め、成長につなげる思考態度のことです。

主に学校教育において、子どもたちに「真の学力」をはぐくむ事業・取組に**Grit**を、「国際社会で活躍できる力」をはぐくむ事業・取組に**Global**を付すとともに、学校教育と生涯学習において、全ての人に「生涯学び続ける力」をはぐくむ事業・取組に**Growth**を付しました。



● アクションプランの進行管理

社会経済情勢や市民ニーズの変化に的確に対応するため、アクションプランで掲げた事業・取組の見直し・改善を図りながら教育施策を推進していきます。

基本的方向性 1

1 2年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成

<施策展開>

- 他者と協働しながら新たな価値を創造していく力を育成する。
- 夢を実現しようとする高い志を持って、可能性に挑戦する力を育成する。

0101 確かな学力の育成

Grit

Global

Growth

児童生徒の確かな学力の育成のために、「基礎学力定着プログラム」、「理数教育推進プログラム」、「国語力向上プログラム」を実施するとともに、指導主事等が教育課程や学習指導等に関する事項について指導・助言を行う計画訪問や、教科等の研修の際に具体的な指導・助言を行う要請訪問等を実施します。

目標指標 ① 全国学力・学習状況調査における各学校の平均正答率について、前年度より向上が見られた学校数（全国の平均正答率との比較による）

0102 アクティブ・ラーニングの推進

Grit

Global

児童生徒の確かな学力を育成するために、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付けられるよう、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から授業改善を図ります。

目標指標 ① 達成状況調査による、「よい授業」の達成状況
② 全国学力・学習状況調査 B 問題における各学校の平均正答率について、前年度より全国平均に対する向上が見られた学校数

0103 さいたま市学習状況調査等の活用

Grit

全国学力・学習状況調査において、トップレベルである本市の学力を今後も維持・向上させるために、国と市独自の学習状況調査等の結果を把握・分析し、実態に応じた指導方法の工夫改善等を行い、児童生徒の学びに向かう力を向上させます。

目標指標 ① 全国学力・学習状況調査における、「国語、算数（数学）の勉強は好き」という質問に、肯定的な回答をする児童生徒の割合
② 全国学力・学習状況調査における、同一集団の小6算数 A と中3数学 A の標準化得点の伸び

0104 教育の情報化推進事業

Grit

教職員の ICT 活用指導力の向上を図る研修会を実施し、「分かる授業・魅力ある授業」の一層の充実を図るとともに、タブレット型コンピュータの配置等による ICT 環境の整備を推進します。

目標指標 ① 国の「児童生徒への ICT 活用を指導する能力」の調査項目に肯定的に回答した教員割合
② 1週間当たりの ICT を活用した平均授業時間（コマ数）
③ 1週間当たりの電子黒板を活用した平均授業時間（コマ数）
④ ICT を使った授業の方が、より分かりやすいと感じた児童生徒の割合（％）

0105 保育所・幼稚園等・小学校の連携

Grit

Growth

保育所の保育や幼稚園等の教育、療育施設の療育の内容に対する理解を深め、保育所、幼稚園、認定こども園、療育施設及び小学校、中学校、特別支援学校の連携を強化し、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた教育活動の一層の充実を図ります。また、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図ります。

目標指標 ① 5年研「保育・幼児教育・療育体験研修」の受講者の研修理解度 A 評価の割合
② 保幼小連携教育研修会の参加者数
③ わくわく造形研修会の参加者数
④ 報告書のアンケートにより「保育所・幼稚園の教育内容について理解が深められた」と回答した小学校教諭の割合

0106 「さいたま市小・中一貫教育」の推進

Grit

Growth

確かな学力の育成やいわゆる「中1ギャップ」の緩和を図るために、義務教育9年間を連続した期間と捉え、全市立小・中学校において、児童生徒の発達や教育指導上の課題に応じた一貫性のある学習指導や生徒指導を推進します。

- | | |
|------|--|
| 目標指標 | ① カリキュラムの実施校数の割合
② 「児童生徒の心のサポート 手引き」の活用校数の割合
③ 中学校区を中心とした小・中学校合同研修会実施校数の割合 |
|------|--|

0107 中・高の連続性を持った教育の推進

Grit

Growth

中学校、高等学校が実施する研究会等の取組に、それぞれの教職員が参加し、学校種を超えた授業研究を活性化させます。

- | | |
|------|---------------------|
| 目標指標 | ① 異校種の研究会等に参加した教職員数 |
|------|---------------------|

0108 特別支援教育の推進

Grit

Growth

共生社会の形成を目指し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するために、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒との交流及び共同学習の更なる推進、研修等による教職員の専門性の向上、就学相談等の相談支援体制の充実を図ります。

- | | |
|------|--|
| 目標指標 | ① 特別支援学校及び特別支援学級の交流及び共同学習参加率
② 特別支援教育コーディネーター実践研修会受講者（コーディネーター経験等条件を満たす者）
③ 免許法認定講習（特別支援教育）受講者 |
|------|--|

0109 特別支援学級の全校設置

Grit

共生社会の形成を目指し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するために、多様な学びの場の充実の観点から、障害のある児童生徒が住み慣れた地域で学べるよう、全ての市立小・中学校に特別支援学級を設置できるよう教室整備を進めます。

- | | |
|------|--------------------------------|
| 目標指標 | ① 特別支援学級の全校設置（教室の整備率）※浦和中学校を除く |
|------|--------------------------------|

0110 通級指導教室の拡充

Grit

共生社会の形成を目指し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するために、多様な学びの場の充実の観点から、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒が、より身近な学校で適切な指導が受けられるよう、通級指導教室の拡充を進めます。

- | | |
|------|-------------|
| 目標指標 | ① 通級指導教室の拡充 |
|------|-------------|

0111 市立高等学校「特色ある学校づくり」事業

Grit

Global

生徒・保護者のニーズに応える質の高い教育活動を展開するために、「市立高等学校『特色ある学校づくり』計画」に基づき、市立高等学校それぞれの特長を生かした学校づくりをさらに充実・発展させます。

- | | |
|------|---|
| 目標指標 | ① 市立浦和高等学校・第一志望の進路実現率（対2017年度比）
② 市立浦和南高等学校・地域連携事業の一環であるグラウンド開放回数
③ 市立浦和南高等学校・地域交流事業に参画したいと回答した生徒の割合（対2017年度比）
④ 市立大宮北高等学校・SSH 関連事業（SS 科学英語）への普通科生徒の参加者数 |
|------|---|

0112 スクールアシスタント配置事業

Grit

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行い、学校教育の更なる充実を図るために、市立小・中・特別支援学校にスクールアシスタントを配置します。

- | | |
|------|--|
| 目標指標 | ① 全校配置の割合
② スクールアシスタントについてのアンケートに、「スクールアシスタントがいてくれるときの方が、勉強が分かりやすくなる」と回答した児童生徒の割合 |
|------|--|

0113 子ども読書活動推進事業

Grit

子どもの読書活動の更なる推進を図るために、「さいたま市子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、子どもたちに読書の楽しさを知ってもらう取組や大人たちにも子どもの読書の大切さを理解してもらう取組を推進するとともに、家庭・地域・図書館・学校等が連携して、子どもの読書活動を支援していきます。

目標指標	① 小学生の不読率（1か月に1冊も本を読んでいない児童の割合）
	② 中学生の不読率（1か月に1冊も本を読んでいない生徒の割合）
	③ 高校生の不読率（1か月に1冊も本を読んでいない生徒の割合）

0114 学校図書館を活用した読書活動の推進

Grit

学校図書館教育は、児童生徒の主体的で意欲的な学習活動を支援したり、日常的に読書に親しむ態度を養ったりすることをねらいとしています。各学校では、教育課程の展開に寄与する「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての学校図書館の充実を図るとともに、計画的で積極的な利活用を推進し、児童生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実に努めます。

目標指標	① 週あたりの学校図書館利用時間数
------	-------------------

0115 ネットトラブル等防止のための情報モラル教育の推進

Grit

ネットトラブル等から児童生徒を守るため、全ての市立学校において「携帯・インターネット安全教室」を実施します。また、「学校非公式サイト等監視業務」により、児童生徒に係る不適切な書き込み等を迅速に発見するとともに、当該校へ情報提供を行うことで、ネットトラブル等の防止を図ります。

目標指標	① 学校非公式サイト等監視業務で検知された不適切な書き込みの削除率
------	-----------------------------------

0116 館岩少年自然の家を活動拠点とした自然体験活動の推進

Grit

「自然に触れ、自然に学び、自然で鍛える」という基本理念に基づき、2018年度から、既存施設と新たに増築・整備された宿泊棟等を活用し、同じ環境で、全ての市立小・中学校が館岩少年自然の家を活動の拠点として「自然の教室」を実施します。

目標指標	① 自然体験活動の達成度「十分達成した」「おおむね達成した」と回答した学校の割合
	② 児童生徒相互の理解・協力の達成度「十分達成した」「おおむね達成した」と回答した学校の割合

基本的方向性 2

グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成

<施策展開>

- コミュニケーションを通じて人間関係を築く力、豊かな情操や規範意識、ものごとを最後までやり抜く力、社会的・職業的自立に向けた能力・態度等を育成する。
- 生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力を育成する。

0201 「グローバル・スタディ」推進事業

Grit

Global

2016年度から全ての市立小・中学校で実施している本市独自の英語教育「グローバル・スタディ」のカリキュラムの改善、効果検証及びその結果に基づく教職員研修、成果を発揮する体験活動等を行い、一層発展・充実させます。

目標指標	① 中学校3年生で英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合
	② 全国学力・学習状況調査の英語平均正答率

0202 グローバル人材を育成する中等教育学校の整備

Grit

Global

グローバル人材を育成するために、市立大宮西高等学校を市立大宮国際中等教育学校に改編し、グローバル化先進校としての取組をさらに充実・発展させるとともに、国際バカロレア認定を実現します。

- | | |
|------|---|
| 目標指標 | ① 市立大宮西高等学校の中等教育学校への改編に向けた校舎整備
② MYP 認定（国際バカロレア機構提供の中学1年生～高校1年生相当の生徒を対象としたプログラム）
③ DP 認定（国際バカロレア機構提供の高校2年生～3年生相当の生徒を対象としたプログラム） |
|------|---|

0203 子どもの体力向上推進事業

Grit

市内の小学生が同じ運動に取り組み、記録に挑戦する「体力アップキャンペーン」の実施や、基礎的な体力の向上を目的とした運動メニュー「新体力アップメニュー」を市立小・中学校の体育授業で活用するなど、「子どものための体力向上サポートプラン」を着実に推進します。

- | | |
|------|-------------------------------------|
| 目標指標 | ① 体力アップキャンペーンの実施
② 新体力アップメニューの活用 |
|------|-------------------------------------|

0204 学校・家庭・地域が連携した食育の推進

Grit

Global

学校における食育の推進を図るとともに、地元シェフによる学校給食や児童生徒が農業体験をする学校教育ファームのほか、「地域の方を招いた学校給食」（児童と地域の方との会食）を実施します。

- | | |
|------|---|
| 目標指標 | ① 「地域の方を招いた学校給食」（児童と地域の方との会食）の実施校数（市立小学校） |
|------|---|

0205 国際教育・交流事業

Global

児童生徒への国際教育を推進するために、市立中学校の生徒を海外に派遣する生徒海外交流事業、日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒が在籍する市立小・中学校への日本語指導員派遣事業、海外姉妹校等との交流等を実施します。

- | | |
|------|--|
| 目標指標 | ① 海外への市立中学校生徒派遣数
② 申請のあった市立小・中学校への日本語指導員派遣率
③ 市立小・中・特別支援学校における姉妹校等交流、国際交流の体験実施率（実施校／全市立小・中・特別支援学校） |
|------|--|

0206 心のサポート推進事業

Grit

いじめの問題、不登校等を解消するために、家庭や地域と連携しながら、予防、アセスメント、支援、ケアを段階的・総合的に展開します。

- | | |
|------|--|
| 目標指標 | ① 自殺予防ゲートキーパー養成
② 教育相談室・適応指導教室において、不登校に関する相談・支援を行った結果、状態が改善した割合 |
|------|--|

0207 スクールソーシャルワーカーの拡充

Grit

複雑化・多様化する児童生徒の状況への対応を強化するため、福祉の専門家として、スクールソーシャルワーカーを全ての市立学校に派遣します。スクールソーシャルワーカーは、学校や関係機関と協力して、児童生徒を取り巻く、家庭・地域等の環境に働き掛けて支援を行います。

- | | |
|------|--|
| 目標指標 | ① 学校だけでは対応が難しいケースを関係機関等と連携して支援した延べ件数（年間） |
|------|--|

0208 未来（みら）くる先生を活用したキャリア教育の推進

Grit

Global

文化芸術及びスポーツ等の分野でトップレベルの実績があり、本市にゆかりのある方を中心とした講師「未来（みら）くる先生」を全ての市立学校に派遣し、講師との触れ合いを大切に授業を通して子どもたちの好奇心や感動する心等をはぐむとともに、市への愛着を深められるようにしたり、望ましい勤労観や職業観を育成したりします。

- | | |
|------|---|
| 目標指標 | ① 授業振り返りアンケートによる、「将来の夢や自分の役割について考え、それを実現させるためには努力が必要」だと感じた児童生徒の割合 |
|------|---|

0209 未来（みら）くるワーク体験（中学生職場体験事業）

Grit

中学生職場体験事業「未来（みら）くるワーク体験」を引き続き推進します。また、各学校での事前・事後指導を充実させるとともに、地域の受入れ事業所の拡充を図り、より有意義な活動となるよう努めます。

目標指標 ① 中学生職場体験事業「未来（みら）くるワーク体験」の実施校数
② 「仕事をすることは人の役に立つことだと思う」と回答した生徒の割合

0210 アート・イン・スクール

Grit

Global

様々な分野で活躍するアーティストを学校へ派遣し、本物の文化芸術に触れる機会の提供や、優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供するなど、文化芸術を愛する児童生徒の育成に資する取組を実施します。

目標指標 ① ゲストティーチャーの派遣校数
② 「文化芸術による 子供の育成事業」の活用校数
③ プライマリーコンサートの参加校数

0211 人権が尊重される社会の推進

Global

同和問題をはじめとする女性・子ども・高齢者・障害者・外国人等の様々な人権問題を解決するために、学校・社会における人権教育を推進し、人権尊重意識の普及・高揚を図ります。

目標指標 ① 人権教育集会所利用者数

0212 道徳教育の推進

Grit

「特別の教科道徳」の全面実施を踏まえ、児童生徒が生命の尊さや、思いやりの心、規範意識等について、学校の教育活動全体を通して考えを深めるとともに、答えが一つではない道徳的な課題に一人ひとりが自分のこととして向き合う道徳の授業の充実に努めます。

目標指標 ① さいたま市学習状況調査における「道徳の時間は楽しい、あるいはためになると感じますか」という質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合

0213 いじめ防止対策の推進

Grit

Global

「さいたま市いじめ防止対策推進条例」、「さいたま市いじめ防止基本方針」に基づき、各学校が策定した「いじめ防止基本方針」による対応の徹底、「いじめ撲滅強化月間」の取組、「さいたま市子ども会議」や「いじめ防止シンポジウム」の開催等により、市を挙げていじめの防止対策を一層充実します。

目標指標 ① 子ども会議、いじめ防止シンポジウムの参加者から得た肯定的な回答の割合

0214 SOS の出し方に関する教育の推進

Grit

社会において直面する可能性のある様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けるための教育や、心の健康の保持に係る教育を推進します。

目標指標 ① 『いのちの支え合い』を学ぶ授業の拡充

0215 主権者教育の推進

Grit

Global

児童生徒の発達段階を踏まえ、1 2 年間の学びの連続性を生かし、政治的中立性を確保しながら、社会科の授業を核として、架空の立候補者を対象とした模擬投票やディベート、外部機関との連携を行うなど主権者教育の推進に努めます。

目標指標 ① 市立中学校・高等学校・中等教育学校で模擬投票や外部機関と連携した体験的な学習を行った割合

0216 「さいたま子ども短歌賞」の推進

Grit

Global

さいたま市民に広く親しまれている短歌を通して、児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ、伝統的な言語文化の継承を図ります。

目標指標 ① 応募者数

基本的方向性 3

人生 100 年時代を輝き続ける力の育成

<施策展開>

- 生きがいを持ち、生涯にわたって質の高い学びを続けられる環境を整備する。
- 人生を豊かに生きるために、学んだことを生かして活躍できる環境を整備する。

0301 公民館・図書館施設リフレッシュ事業

Growth

安全・安心な学習環境を提供するために、「さいたま市公民館施設リフレッシュ計画」及び「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」に基づき、老朽化対策を進めるとともに、バリアフリー化を実施し、利便性の向上を図ります。

- | | |
|------|-------------|
| 目標指標 | ① 公民館施設の改修数 |
| | ② 図書館施設の改修数 |

0302 図書館整備事業

Growth

図書館サービス充実のために、図書館資料へ IC タグを貼付し、利用者が自ら貸出手続きを行うことができる自動貸出機の設置及び資料の持ち出しを防止するゲートの設置を行います。また、2019年度に移転予定の大宮図書館について、開館後の運営が適正に行われるよう、運営履行状況の確認・検証を行います。

- | | |
|------|---|
| 目標指標 | ① 図書館全資料に占める IC タグ貼付資料の割合 |
| | ② 大宮図書館の移転、運営履行状況の確認・検証 |
| | ③ 図書館の利用に関するアンケートにおいて「満足」「やや満足」と答えた利用者の割合 |
| | ④ 図書・雑誌・視聴覚資料・電子書籍の個人貸出点数 |

0303 生涯学習人材バンク事業

Growth

生涯学習の振興と地域における豊かなつながりの創出のために、生涯学習に関する専門的な知識や技能、経験等を有している方々を「生涯学習人材バンク」に登録・公開し、学習したい方々の希望に合わせて紹介します。

- | | |
|------|----------|
| 目標指標 | ① マッチング数 |
|------|----------|

0304 さいたま市民大学事業

Growth

市民の多様な学習要求に応えるとともに、豊かな生涯学習社会を築くために、生涯学習総合センター等で「さいたま市民大学」を継続して開設し、幅広い年齢層を対象に内容の充実した学習機会を提供します。

- | | |
|------|-------------------------------|
| 目標指標 | ① 全コースの延べ参加者数 |
| | ② 講座に参加して「満足」「やや満足」と答えた参加者の割合 |

0305 文化財保護事業

Global

Growth

貴重な歴史文化資源の将来への継承と活用を図るために、国指定史跡「見沼通船堀」、「真福寺貝塚」等の歴史的資源や国指定特別天然記念物「田島ケ原サクラソウ自生地」等の自然的資源の保存・整備を行います。

- | | |
|------|-------------------|
| 目標指標 | ① 真福寺貝塚整備のための発掘調査 |
| | ② 見沼通船堀再整備 |
| | ③ 通船堀閘門開閉実演来訪者数 |

0306 博物館・美術館・科学館事業の充実

Global

Growth

博物館：本市の歴史と文化に関する貴重な資料を収集・整理・保存し、常設や特別展示で活用します。特別展示では見学会等を開催し、市民が地域の歴史と文化を学び、親しむ機会を充実させます。

美術館：気軽に美術鑑賞ができ、美術全般にわたる情報を得ることのできる文化創造の拠点を目指した施設として、今後も魅力的な展覧会の開催等に努め、市民にとって身近で親しみのある美術館を目指します。

科学館：2018年度より、「若田宇宙飛行士アカデミー」として、宇宙飛行士を目指す子どもたちを応援する「スペースコース」と、ロボットや科学技術への興味・関心を高める「ロボットコース」の2つのコースを実施します。

目標指標	① 特別展等展覧会の入場者数（博物館） ② 企画展の入場者数の増加（美術館） ③ 「若田宇宙飛行士アカデミー」に参加して「とてもよかった」と回答した子どもの割合（科学館）
------	---

0307 生涯学習施設と学校との連携事業の充実

Grit

Growth

博物館：土器等の歴史資料及び民俗資料の貸出しや、本市の歴史に関連する写真及び資料を巡回展示する「学校巡回展」を実施し、社会科・生活科の授業で活用できる資料を提供していきます。

美術館：本物の作品に出合える「うらびいスクールサポートプログラム」による鑑賞学習をはじめ、しかけ絵本や造形的に芸術性の高い本等を市内の小学校へ持参する鑑賞の授業「本の出張授業」や、収蔵作品掲載鑑賞ツール「埼玉アートカード」、収蔵作品大型図版「アート掛図」の貸出し等を実施します。

科学館：「プラネタリウムを活用した学習利用」、出前理科授業や天体観望会を行う「スクール・サポート・サイエンス」、市立中・高等学校の生徒が活動の成果を発表する「サイエンスフェスティバル」を実施します。

公民館：長期休業中に地域の小学生を対象とした体験講座を実施するほか、地域の中学生・高校生がボランティアとして携わることができる事業を実施します。また、地区文化祭等において、児童生徒の作品展示や演奏発表を実施するなど、地域の愛着をはぐむとともに、地域への世代間交流を目的とした事業を一層充実させます。

図書館：学校図書館資源共有ネットワークの活用を促進し、調べ学習等の授業に役立つ図書の貸出しを行います。また、子どもたちの図書館見学を奨励するとともに、小・中学校及び特別支援学校への学級文庫用図書の貸出しの対象校を拡大するとともに、学校と連携して本の紹介事例の共有等も推進します。

目標指標	① 資料貸出し及び巡回展実施延べ校数（博物館） ② 実施延べ校数の合計（美術館） ③ 各学校から提出される実施報告書において評価 A と回答した子どもの割合（科学館） ③ 長期休業中における「夏休み子ども公民館」の実施事業数（公民館） ④ 公民館文化祭の実施館数（公民館） ⑤ 地域の中学生や高校生が講師やアシスタントを務める事業数（公民館） ⑥ 図書館見学受入れ回数（図書館）
------	---

基本的方向性 4

スクール・コミュニティによる連携・協働の充実

<施策展開>

- 学校・家庭・地域・行政の連携・協働体制を構築し、地域の教育力の向上を図るとともに、地域に信頼される学校づくりを推進する。
- 地域の多様な教育資源を活用し、地域コミュニティの活性化と、地域発展の担い手となる人材を育成する。

0401 学校を核とした地域づくりの推進

Grit

Growth

2022年度までに全ての市立学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、地域住民等と一体となって特色ある学校づくりを進めていくための仕組みと、様々な取組をより効果的に活用するための体制を構築します。また、弁護士・精神科医・臨床心理士・元警察官等による学校相談支援チームの相談活動の充実を図ります。

目標指標	① さいたま市学習状況調査における、「保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか」の質問に、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した学校の割合 ② 学校相談支援チームが、学校や保護者等からの相談に対し、解決及び解決の方向性について指導・助言した割合 ③ コミュニティ・スクール導入校数
------	--

0402 親の学習事業

Growth

子育て中の親同士が自分自身や子育てについて改めて考え、様々な学びを通して気付くことにより、親として成長することを目的としたワークショップ形式による親の学習事業を実施していきます。

目標指標	① 親の学習事業の男性参加者の中で「満足」と回答した割合
------	------------------------------

0403 「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上」キャンペーン

Grit

児童生徒の生活習慣向上のために、学校・家庭・地域・行政が互いに連携・協力し、「早寝・早起き・朝ごはん」を推進する、市独自のキャンペーンを実施します。

目標指標	① 朝食を食べている割合
------	--------------

0404 チャレンジスクールの充実

Grit

Growth

より多くの幅広い層の地域住民、団体等の参画を得て、地域社会の中で、基礎学力の向上を図るとともに、子どもたちを心豊かで健やかにはぐむために、放課後や土曜日に学校の教室等を活用して、学習、体験活動、スポーツ等を行う、チャレンジスクールを実施します。

目標指標	① チャレンジスクール延べ参加児童生徒数（年間） ② チャレンジスクールに参加して「よかった」「どちらかといえば、よかった」と答えた子どもの割合
------	---

0405 「学校安全ネットワーク」の推進

Growth

通学区域全体の安全性を高めるために、多くの人の目で子どもたちを見守る「学校安全ネットワーク」について、協力者の確保のための積極的な広報活動や、新たな見守り活動制度等による拡充を行い、更なる推進を図ります。

目標指標	① 新たな見守り活動制度の協力者数
------	-------------------

0406 「心を潤す4つの言葉」の推進

Grit

気持ちのよいあいさつ「おはようございます」、気持ちのよい返事「はい」、感謝の気持ちを伝える「ありがとうございます」、素直に謝る「ごめんなさい」の「心を潤す4つの言葉」を自然に発することができる子どもは、よりよい人間関係を築くことができます。子どもたち一人ひとりの心が通い合う学校や地域づくりを目指し、子どもたちが、家庭や学校だけではなく、共に暮らす地域の方々に対しても4つの言葉を自然に発することができるよう、全ての市立学校において「心を潤す4つの言葉」推進運動を実施します。

目標指標	① さいたま市学習状況調査（生活習慣等に関する調査）関連質問において肯定的に回答した児童生徒の割合
------	---

基本的方向性 5

「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備

<施策展開>

- 新しい時代の教育に向けた学校の指導体制を構築する。
- 安全・安心で質の高い教育環境を整備するとともに、学校安全体制を推進する。

0501 学校における働き方改革の推進

全ての学校職員が健康で生き生きとやりがいを持ち能力を最大限発揮して働くことのできる持続可能な職場環境づくりを推進し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保するとともに、教育の質を向上させます。

目標指標 ① 学校職員一人ひとりの正規の勤務時間を除く在校時間

0502 人づくり、人材確保改革の推進

採用選考の実施方法を工夫・改善し、高い専門性と、意欲及び誇りをもった教員を採用します。

目標指標 ① 市立学校教員採用選考試験の志願者数
② 臨時的任用教員の割合（全ての市立小・中・特別支援学校の校長・教頭・主幹教諭・教諭に対する臨時的任用教員の割合）

0503 教員の資質能力の向上

時代のニーズや多様化する教育課題に対応する力や教員のキャリアステージに応じて求められる力の育成に資する研修を実施します。

目標指標 ① 全研修会における受講者の研修理解度 A 評価の割合

0504 奨学金返済支援制度の創設

経済的理由で修学困難な学生等の大学等への進学を促進するために、入学準備金・奨学金を無利子で貸し付ける「さいたま市入学準備金・奨学金貸付制度」を継続するとともに、一定の要件を満たした場合に返還金の一部を免除する制度を新たに創設します。

目標指標 ① 新制度（返還免除制度）の創設

0505 部活動指導員配置事業

スポーツ、文化及び科学等に親しませるだけでなく、生徒同士や生徒と教員等との好ましい人間関係の構築や学習意欲の向上、自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、部活動の有する意義を踏まえ、部活動を担当する教員の負担を軽減するとともに、部活動の活性化に向けて、単独で技術指導及び引率が可能な部活動指導員を市立中・高等学校に配置します。

目標指標 ① 部活動指導員の配置を希望する学校への配置率

0506 大学連携コラボレーション事業

教員を目指す学生の資質向上や児童生徒の学力向上を図るため、大学と連携し、学生による児童生徒への学習支援ボランティア（アシスタントティーチャー）を配置します。また、学生が教員となるための意識や資質を高めるため、「『教師力』パワーアップ講座」や「研究発表会」等への学生の参加を推進します。

目標指標 ① 希望校へのアシスタントティーチャー配置率
② 「『教師力』パワーアップ講座」、「研究発表会」などへの学生の参加人数

0507 学校安全推進事業

児童生徒の事故等を防止するために、防災教育カリキュラムの実施、「ASUKA モデル」の実践等により、学校における安全教育・安全管理に取り組むとともに、交通安全対策として、全市立小・中学校で、通学路の安全点検を行います。

目標指標 ① 教職員を対象とした傷病者発生時対応訓練（全市立小・中・高等・特別支援学校）
② 通学路の安全点検（全市立小・中学校）

0508 WHO のセーフスクールの取組、成果の普及

学校における子どもの安全を確保するために、WHO の推進する国際セーフスクールの認証を取得した慈恩寺小学校の取組と成果を、全ての市立学校へ広めていくほか、研究指定校において、更なる学校安全に向けた研究に取り組みます。

目標指標 ① 慈恩寺小学校の取組例の市立学校での実施率（「けがマップの作成」、「児童生徒による主体的な啓発活動」をともに実施している学校の割合）

0509 自転車免許制度の全面実施

児童生徒の安全を一層確保するために、全ての市立中・高等・中等教育学校の1年生を対象に「中・高等学校生自転車運転免許制度」を実施するとともに、引き続き、市立中・高等・中等教育学校において「スクエアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室」を実施し、児童生徒への交通安全に対する啓発を進めます。

目標指標 ① 全市立中・高等学校1年生対象の「中・高等学校生自転車運転免許制度」
② さいたま市内の自転車事故死傷者数の減少率（対2016年比）

0510 過大規模校等教育環境整備事業

学校規模の適正化とともに本市の教育水準の向上を図るため、義務教育学校をはじめとした新設校の設置、通学区域の調整等、良好な教育環境の整備に向けた取組を推進します。

目標指標 ① 過大規模校等教育環境整備計画の策定
② 新設美園地区小学校の整備
③ 新設大和田地区小学校の整備手法及び通学区域の検討

0511 学校のリフレッシュ計画の推進

安全・安心で持続的な教育環境を確保するために、学校施設リフレッシュ基本計画に基づき、与野本町小学校複合施設の供用を開始するとともに、建築年等の状況を踏まえ、順次、学校施設の校舎等の計画的な改築・改修を実施します。

目標指標 ① 学校施設リフレッシュ基本計画に基づいた改修・建替えを実施

0512 学校トイレの洋式化等の推進

生活様式の変化に伴い、洋式トイレが一般的となっており、子どもたちが不便を感じることがないように、トイレの老朽化に配慮しつつ、洋式トイレの整備を進めます。また、併せて臭い対策にも取り組みます。

目標指標 ① 市立小・中学校のトイレ洋式化率向上

0513 与野本町小学校複合施設整備事業

児童以外の住民も含めた多様な教育の場とするとともに、住民が交流できる地域コミュニティの場を形成するために、与野本町小学校の老朽化した北校舎及び給食室を周辺の公共施設との複合化に合わせ改築します。また、東校舎、南校舎や与野本町コミュニティセンターの大規模改修を行います。

目標指標 ① 複合施設整備、老朽化改修工事完了

0514 小学校給食調理業務の委託化

小学校の給食調理業務において、効果的・効率的な管理運営を図るため、民間委託を推進します。

目標指標 ① 小学校給食調理業務の委託化による人員効果

0515 学校用務業務の委託化

学校用務業務について、効果的・効率的な管理運営を図るため、民間委託を推進します。

目標指標 ① 学校用務業務の委託化による人員効果

0516 学校給食費の公会計化

学校給食費を市の歳入歳出に計上し、会計の透明性を図るとともに、学校現場での現金事故の抑制、事務処理の軽減を図ることを目的に、公会計化の実施に向けて準備を進めます。

目標指標 ① 学校給食費の公会計化の実施

第2期さいたま市教育振興基本計画 概要図

計画について

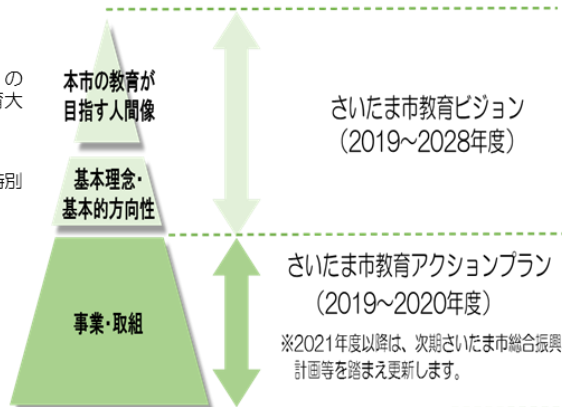
- **法的な位置付け：**
教育基本法第17条第2項に規定された「教育振興基本計画」
- **他計画との関係性：**
本市の最上位の総合振興計画である「2020さいたま希望（ゆめ）のまちプラン」の方向性等を取り入れるとともに、「さいたま市教育大綱」とも整合が図られている。
- **計画の対象範囲：**
市教育委員会所管の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の学校教育及び生涯学習
- **計画の期間：**

年度 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028

さいたま市教育ビジョン
さいたま市教育アクションプラン ※

※（さいたま市教育アクションプランは2021年度に更新予定）

● 計画の全体像：



さいたま市教育ビジョン

- **「本市の教育が目指す人間像」**
世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人
- **「基本理念」**
人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進

- グローバル化、情報化など予測が困難な未来に対応し、多くの情報の中から何が必要かを主体的に判断し、自ら立てた問いの解決を目指し他者と協働しながら最適な解を見つけ、新たな価値を創造することができる人
- 多様な人々との関わりの中で共感し、人間ならではの感性、創造性を発揮しつつ、自らの可能性を高めながら、よりよい人生、よりよい社会を創り出していくことができる人
- 生涯にわたって質の高い学びを重ね、夢と志を持ち、生きがいを見つけ、健康で幸せに暮らすことができる人

- 基本的方向性①
12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成
- 基本的方向性②
グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成
- 基本的方向性③
人生100年時代を輝き続ける力の育成
- 基本的方向性④
スクール・コミュニティによる連携・協働の充実
- 基本的方向性⑤
「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備

施策展開	
基本的方向性①	○ 他者と協働しながら新たな価値を創造していく力を育成する。 ○ 夢を実現しようとする高い志を持って、可能性に挑戦する力を育成する。
基本的方向性②	○ コミュニケーションを通じて人間関係を築く力、豊かな情操や規範意識、ものごとを最後までやり抜く力、社会的・職業的自立に向けた能力・態度等を育成する。 ○ 生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力を育成する。
基本的方向性③	○ 生きがいを持ち、生涯にわたって質の高い学びを続けられる環境を整備する。 ○ 人生を豊かに生きるために、学んだことを生かして活躍できる環境を整備する。
基本的方向性④	○ 学校・家庭・地域・行政の連携・協働体制を構築し、地域の教育力の向上を図るとともに、地域に信頼される学校づくりを推進する。 ○ 地域の多様な教育資源を活用し、地域コミュニティの活性化と、地域発展の担い手となる人材を育成する。
基本的方向性⑤	○ 新しい時代の教育に向けた学校の指導体制を構築する。 ○ 安全・安心で質の高い教育環境を整備するとともに、学校安全体制を推進する。

さいたま市教育アクションプランにおける重点事項

「未来を拓くさいたま教育」を推進する
「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」



3つのGを実現するためのポイント

Grit

● 学校の教育活動を通して、子どもたちの学びの下支えとなる、前向きに挑戦しやり抜く力や自制心、責任感、規範意識、社会性、自己肯定感、自己有用感、豊かな情操、他者への思いやり等を養っていく。
● 子どもたちが、生涯にわたって質の高い学びを重ね、自分の顔で考え抜いて「新しい価値」を生み出す知的にタフな人間として成長を遂げるため、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度等をよくよく、質の高い教育を展開していく。

Global

● 全ての教育活動を通して、よりよい世界を構築するため、多様性を受け入れ、世界を舞台に挑戦する主体性と創造性、豊かな人間性を養うとともに、言語や文化で異なる人と外国語で意見を述べたり、交流した力する力を育成していく。
● 全ての教育活動を通して、伝統と文化を尊重し、それらをよく守ってきた我が国と郷土を愛するとともに、他国を理解し尊重する態度や国際社会の平和と発展に寄与する態度、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付けて、グローバル社会の様々な分野において活躍できる力を育成していく。

Growth

● 子どもから大人まで全ての人が、自らの能力を高め、発揮しながら自己実現を図っていくことができるよう、「学び」が「活動」が循環する、学校教育・生涯学習を力強く推進する。
● 本市の強みである、学校・家庭・地域・行政による連携・協働体制をさらに強め、地域の教育力を一層高めていく。

さいたま市教育アクションプラン

「未来を拓くさいたま教育」を推進する 「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」

基本的方向性①

12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成

- 確かな学力の育成 (Grit, Global, Growth)
- アクティブ・ラーニングの推進 (Grit, Global)
- さいたま市学習状況調査等の活用 (Grit)
- 教育の情報化推進事業 (Grit)
- 保育所・幼稚園等・小学校の連携 (Grit, Growth)
- 「さいたま市小・中一貫教育」の推進 (Grit, Growth)
- 中・高の連続性を持った教育の推進 (Grit, Growth)
- 特別支援教育の推進 (Grit, Growth)
- 特別支援学級の全校設置 (Grit)
- 通級指導教室の拡充 (Grit)
- 市立高等学校「特色ある学校づくり」事業 (Grit, Global)
- スクールアシスタント配置事業 (Grit)
- 子ども読書活動推進事業 (Grit)
- 学校図書館を活用した読書活動の推進 (Grit)
- ネットトラブル等防止のための情報モラル教育の推進 (Grit)
- 館岩少年自然の家を活動拠点とした自然体験活動の推進 (Grit)

基本的方向性③

人生100年時代を輝き続ける力の育成

- 公民館・図書館施設リフレッシュ事業 (Growth)
- 図書館整備事業 (Growth)
- 生涯学習人材バンク事業 (Growth)
- さいたま市民大学事業 (Growth)
- 文化財保護事業 (Global, Growth)
- 博物館・美術館・科学館事業の充実 (Global, Growth)
- 生涯学習施設と学校との連携事業の充実 (Grit, Growth)

基本的方向性④

スクール・コミュニティによる連携・協働の充実

- 学校を核とした地域づくりの推進 (Grit, Growth)
- 親の学習事業 (Growth)
- 「すくすく のびのび 子ども生活習慣向上」キャンペーン (Grit)
- チャレンジスクールの充実 (Grit, Growth)
- 「学校安全ネットワーク」の推進 (Growth)
- 「心を潤す4つの言葉」の推進 (Grit)

基本的方向性②

グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成

- 「グローバル・スタディ」推進事業 (Grit, Global)
- グローバル人材を育成する中等教育学校の整備 (Grit, Global)
- 子どもの体力向上推進事業 (Grit)
- 学校・家庭・地域が連携した食育の推進 (Grit, Global)
- 国際教育・交流事業 (Global)
- 心のサポート推進事業 (Grit)
- スクールソーシャルワーカーの拡充 (Grit)
- 未来（みらい）くる先生を活用したキャリア教育の推進 (Grit, Global)
- 未来（みらい）くるワーク体験（中学生職場体験事業） (Grit)
- アート・イン・スクール (Grit, Global)
- 人権が尊重される社会の推進 (Global)
- 道徳教育の推進 (Grit)
- いじめ防止対策の推進 (Grit, Global)
- SOSの出し方に関する教育の推進 (Grit)
- 主権者教育の推進 (Grit, Global)
- 「さいたま子ども短歌賞」の推進 (Grit, Global)

基本的方向性⑤

「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備

- 学校における働き方改革の推進
- 人づくり、人材確保改革の推進
- 教員の資質能力の向上
- 奨学金返済支援制度の創設
- 部活動指導員配置事業
- 大学連携コラボレーション事業
- 学校安全推進事業
- WHOセーフスクールの取組、成果の普及
- 自転車免許制度の全面実施
- 過大規模校等教育環境整備事業
- 学校のリフレッシュ計画の推進
- 学校トイレの洋式化等の推進
- 与野本町小学校複合施設整備事業
- 小学校給食調理業務の委託化
- 学校用務業務の委託化
- 学校給食費の公会計化

計画の推進に当たっては、“より高みを目指す”という視点を持ち、社会経済情勢や市民ニーズの変化に的確に対応しながら、PDCA サイクルに基づく進行管理を行い、様々な課題に対して的確かつ弾力的に取り組んでいきます。



さいたま市 PR キャラクター つなが竜 ヌゥ

第2期さいたま市教育振興基本計画（概要版）

平成31年（2019年）3月

編集・発行 さいたま市教育委員会

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4

電話：048-829-1626 FAX：048-829-1989

（管理部教育政策室 直通）

販売価格 85 円